



結進仕 団躍奉

鹿児島けんちく

発行所 鹿児島県建築協会 鹿児島市城山町2-13

建築協会五十周年を迎えて

(社)鹿児島県建築協会 会長 前田正人



残暑 お見舞い申し上げます。平素より、協会運営にご支援・ご協力を賜わり、感謝申し上げます。



川内大綱引

(写真提供:川内大綱引保存会)

鹿児島県建築協会の皆様方におかれましては、平素から全中建設の活動に対して、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



(社)全国中小建設業協会 会長 岡本弘

地方都市の疲弊から脱却・元気回復へ

住宅・店舗などの建物が町ごと流されるという甚大な被害が発生しましたが、それからおよそ半年を経過した今日ですら、復旧・復興が遅々として進んでいないような状況であります。

通常総会 平成二十三年度第五十回通常総会が五月二十七日、鹿児島市新照院町の城山観光ホテルで開催されました。

九名、従業員の部十五名の表彰があり、前田会長より表彰状と記念品が贈呈されました。

《平成二十三年度建築協会会長表彰受賞者》 有田賢一 株式会社有田組 鹿児島

平成23年度スローガン

- 社会に奉仕する力強い 地場産業を目指して
◎建築受注量の確保
◎適正単価と経営の健全化の推進
◎労働災害と交通事故の撲滅
◎会員の団結及び情報化時代への対応
◎若手経営者の育成及び地域社会への貢献と社会的信頼の確保

Table with columns: 氏名, 会社名, 所属. Lists members and their companies.

# 「時代の要請に対応した建築業の発展に向けて」

鹿見島県土木建築技監

西蘭

幸弘



建築協会の皆様には、平素より建築工事の安全かつ適正な施工を通して、本県建築業の健全な発展のために御尽力いただき深く感謝申し上げます。

本県の昨年度の住宅着工戸数は、昨年度五年ぶりに前年度を上回りましたが、建築業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、本県の公共

施設の整備については、様々な市民の活動を支える社会基盤として安全性の確保を図ることを第一に、機能性・快適性の向上、環境対策、県産材の活用等に取り組んでおり、今年度は、県立学校の耐震補強や県営住宅の住戸改善等により既存ストックの有効活用を図るとともに、鹿見島養護学校の移転新築や鹿見島工業高校の校舎改築等に着手することとしております。

発注にあたっては、可能な限り早期発注に努めるとともに、受注機会を確保するため分離・分割発注を行うこととしております。また、入札の透明性・競争性の向上を図り、技

# 「かごしまから『元気』を発信」

鹿見島市建設局長

上林房

行信



お見舞い申し上げます。鹿見島市としましては、被災地の支援に全力を挙げて取り組んでいくところでございます。

さて、長期化するデフレの影響や雇用情勢の悪化といった大変厳しい社会経済情勢に加え、相次ぐ自然災害の発生により、社会全体に閉塞感や不安感が漂っております。このような状況を打破し、活力に満ちたまちづくりを進めていくためには、本市が持つ豊かな地域資源を生かした効果的な施策を展開していくかなければなりません。

本年三月には、市民・県民の大きな期待とともに九州新幹線鹿見島ルートが全線開業いたしました。

本市としましては、この新幹線効果を最大限に生かし、鹿見島から日本を元気にしていく、まさにそうした気概を

# 設立五十周年記念に想う

鹿見島県建築協会 副会長

小林 正義



残暑お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続いておりますが、皆様方のおかげです。お元気でお過ごしのことと存じます。

今年平成二十三年は、大変な年となりました。三月十一日の東北・東日本における大震災は、記録にもまた、人々の記憶にも残るものです。

地震・津波・原発事故とトリプル被災ですが、五ヶ月たった今も、いまだに先の見えない不安がある様

ですが、一日も早い復興を祈るのみです。

その様な状況の中、(社)鹿見島建築協会設立五十周年の記念事業が催されましたが、震災発生直後は全てに自粛ムードが有り、一時は中止も検討されましたが、時がたつにつれ、ノーマル自粛の言葉と共に、イベントをやり、元気づけようとのムードに変わり、予定通り記念事業を滞りなく行い、素晴らしい成果をあげ、協会としての五十年の歴史に大きなはじめをつけました。

これを機に永らくお勤め下さり協会運営に多大な貢献と惜しみない労を下さいました。前専務理事池添宏氏が勇退されました。本当に有難うございました。その後を受け、新しく諏

# 新幹線に乗って

(社)鹿見島県建築協会 副会長

横村 満昭



三月十二日、鹿見島―青森間が新幹線で全線開通となった。私は新幹線全線開通をまだかまだかと待ちわびた一人です。一九九一年新八代―西鹿見島間の工事着工から二〇〇四年の新八代―鹿見島中央間の開通と工事着工からでも二十年有余かかっても全線開通である。

早速、新幹線旅行計画を立てようと考えていた矢先十一日の東日本大震災が発生。未曾有の大惨事で計

# 防災

(社)鹿見島建築協会 副会長

中村 明人



三月十一日東北地方に未曾有の災害が起きました。数ヶ月経った現在でもまだ瓦礫の撤去すら進んでいない散々たる状況です。

東南海・東海を含む他地域においてもまだ地震の発生が予想されるそうです。

地震発生時の仕組や前兆に關してはまだ未解明な部分が多いようです。更なる研究・解明を進め、そして地震国日本として、厳格な

安全基準を設定し、災害を最小限度に食い止める防災対策をしっかりと立ててもらいたいものです。今後被災地におけるインフラ整備の一環として港湾・堤防・土地利用等の防災に対する公共工事の在り方が問われそうです。今回の災害を踏まえ、土木学会・建築学会の方々の調査・研究が行われ、より合理的で機能的な発案が生まれることとしよう。そして時代を先取りした技術として太陽光発電・省エネ住宅・風力や再生可能エネルギーを導入する機運が高まり、新たな産業が生まれるのではないのでしょうか。鹿見島支部におきましては

# 鹿見島支部会員の協力に感謝致します

鹿見島支部長

前田 正人



管工事協同組合が調印を致しました。調印に至るまでには鹿見島市当局の担当者、当協会、横村氏・中村氏の両副支部長と協会事務局が、数回に渡り協議を重ね、合意に達した結果であり、担当された皆様の労を痛く感謝致します。二月九日に防災協定締結三団体が連絡協議会を開催致しました。各団体の取組み状況を協議して意思疎通を計ったところであります。六月十四日には、鹿見島市との防災協定に基づく、模擬訓練を建築協会鹿見島支部八十五社が参加し、鹿見島市の避難所全百八十四箇所の現地調査・建物位置や調査項目についてチェックし、災害時に迅速かつ的確な対応が出来るように、鹿見島市当局と時間を決め、連絡を取り合いながら訓練を行っ



たところでありました。午後四時から執行部、各プロジェクト長、事務局で反省会を行い、次回訓練に活かすよう協議を行いました。

今回の模擬訓練は、何よりも鹿見島支部会員八十五社全員が参加して、有事における応急対策業務についての認識を統一出来たことが何よりの収穫でした。支部会員各社にお礼を申し上げます。

五月十日は、鹿見島支部通常総会を開催し、第一号議案から第四号議案が審議され全てが承認されました。また、七月二十五日、鹿見島支部工事委員会と総務委員会が開催され二十三年度各委員会事業計画について審議が行われ、今年度の各事業がスタート致しました。今後も関係皆様のご指導ご協力をお願い致します。



# 晴れの受賞

## 心からお祝い申し上げます

### 黄綬褒章 表彰受章 前屋敷 俊光 前屋敷組(株)



盛夏の候皆様にはますます  
すこ清栄のこととお慶び申  
し上げます。

にて待機(皇居の警戒の厳  
重の為)させられた。漸く時  
間になり式場へ向かう。そ  
こは国賓を迎えて宮中晩餐  
会が開かれる豊明殿であつ  
た。各省から推薦を受けた  
受勲者が五百人はいただろ  
うか。いよいよ天皇陛下の  
御出座である。ざわめき  
が消え急に清閑になる。三  
段重ねの(約六十)お立ち  
台に御登壇されゆつくりと  
全体を見回しながらねぎら  
いのお言葉を頂いた。これ  
が拝謁なのだと思ふ感動  
を覚える。その後受勲者の  
廻りを一周してお帰りにな  
つた。

何ともいえないオーラを  
感じた。このように身に余  
る榮譽をいただいたのだが、  
国家社会に対して功労があつ  
たといわれても、私一人で、  
一個人でなし得た事柄では  
あろうはずがなく、私を支



受勲状

え助けて下さり、又励まし  
て下さった多くの方々があつ  
たればこそ、細やかながら  
世に尽くせたのであり、こ  
こに心からお礼を申し上げ  
受勲の榮譽を皆様と共に分  
ち合いたいと思う。私も  
近く古希の齢を迎えるが、  
残りの生涯をさらに職務に  
尽くし、幾分たりとも世の  
為に役立ちたい、これが私  
のなしている唯一の恩返しと  
も考えております。どうか  
今後とも、ご指導ご鞭撻を  
賜りますよう、心からお願  
い申し上げます次第でござい  
ます。

私、今年深野木委員長の  
もと副委員長を拝命してお  
ります。労務委員会では、今  
年も安全パトロールや各種  
安全講習会を計画していま  
すので、会員の皆様方の参  
加をお願いいたします。

さて、皆様も存じの通り  
建設業における死亡災害  
の約四割が「墜落」による災  
害で、そのうち二割が足場  
からとなつています。足場

の組立・解体時に手すりや  
幅木の不備が原因の墜落は  
死亡災害などの重大災害に  
繋がります。

働きやすい安心感のある  
手すり先行工法を用いた建  
築現場が、最近主流となつ  
てきましたが、まだ従来の  
安全に対して不十分と思わ  
れる現場の現場も見受けら  
れます。

事故が起きてからでは取  
り返しがつきません。会員  
企業は、企業防衛のためにも  
足場を必要とする現場では  
手すり先行工法を採用して  
足場上での安全作業が確保  
できる措置を必ず講じて下  
さい。

## 思いふと

### 総務副委員長 内村 文泰



皆さんご存知のように、当  
建築協会も五十周年を過ぎ  
次の時代へと移ります。戦後  
の混乱期から高度成長期、オ  
イルショック、バブル期リー  
マンショック、そして現在と  
世の中の変遷と共にその役  
割も変わって来ましたが、景気

## 手すり先行工法で墜落防止

### 労務副委員長 梅木 一宏



観光客に手軽に観光地巡り  
をしてもらおうと、電動アシ  
スト自転車「いぶりん」のレン  
タルが本格的に始まりました。  
JR指宿駅の案内所や市内の  
宿泊施設に設置し気軽に利用  
してもらおうと企画したもの  
です。レンタル料は、五百円か  
ら二千円、時間により異なり  
ます。自転車の特徴は、試乗し  
た方に聞くと軽くこぐだけで  
進み力が要らず楽に乗れるそ  
うです。今まで車中から観る  
だけでじつくりと向き合うこ  
とのなかつた指宿の自然を満



観光客に手軽に観光地巡り  
をしてもらおうと、電動アシ  
スト自転車「いぶりん」のレン  
タルが本格的に始まりました。  
JR指宿駅の案内所や市内の  
宿泊施設に設置し気軽に利用  
してもらおうと企画したもの  
です。レンタル料は、五百円か  
ら二千円、時間により異なり  
ます。自転車の特徴は、試乗し  
た方に聞くと軽くこぐだけで  
進み力が要らず楽に乗れるそ  
うです。今まで車中から観る  
だけでじつくりと向き合うこ  
とのなかつた指宿の自然を満

自信と責任を持って新たな  
挑戦に取り組むべき時が来  
たのだと思ひます。基本的  
には社会のルールを守り、人  
材の育成に努め、望まれる業  
界団体としてお互いが切磋  
琢磨し自立した組織、市民県  
民から頼りになる団体に生  
まれ変わる時がやって来た  
と思ひます。

## 電動自転車『いぶりん』

### 研究開発副委員長 濱田 信行

観光客に手軽に観光地巡り  
をしてもらおうと、電動アシ  
スト自転車「いぶりん」のレン  
タルが本格的に始まりました。  
JR指宿駅の案内所や市内の  
宿泊施設に設置し気軽に利用  
してもらおうと企画したもの  
です。レンタル料は、五百円か  
ら二千円、時間により異なり  
ます。自転車の特徴は、試乗し  
た方に聞くと軽くこぐだけで  
進み力が要らず楽に乗れるそ  
うです。今まで車中から観る  
だけでじつくりと向き合うこ  
とのなかつた指宿の自然を満

## 国土交通大臣 表彰



### 横村 満昭 横村建設(株)

今回の受賞に際し皆様  
に感謝申し上げます。皆  
さんのおかげでここまで  
やってこられましたし、  
まだまだこれから先も皆  
様にお世話になりながら  
業界に多少なりとも恩返  
しが出来たらと考えてお  
ります。有り難うござい  
ました。

## 全国中小建設業 協会会長表彰



### 梅木 一宏 齊藤建設(株)

去る六月八日開催され  
ました(株)全国中小建設業  
協会通常総会に於いて、  
会長表彰をいただきました。

協会のご推薦があつて  
の受賞と考えますので、  
協会会員の皆様方に心より  
感謝申し上げます。また  
まだ若輩者の私ですが、  
協会発展のため努力を重  
ねて行きたいと思つてお  
りますので、何卒よろし  
くお願いいたします。

## 全国中小建設業 協会会長表彰



### 鶴留 政博 (株)鶴留建設

去る、六月八日開催され  
ました(株)全国中小建設業協  
会通常総会に於いて会長表  
彰を受賞致しました。

この度の表彰は建築協会  
のご推薦と、会員皆様方の  
ご支援、ご協力の賜物だと  
感謝致しております。今後  
も鹿児島県の建築業界活性  
化と協力の発展の為懸命に邁  
進して参ります。最後に方  
向が、事務局皆様方に  
深く御礼申し上げます。

## アナログ時代の終焉

### 工事副委員長 福地 眞



ついにアナログ放送が七  
月二十四日正午をもって終  
了した事を知った。

新聞によると一九五三年  
に始まったアナログ放送と  
書いてあるが、一九五三年生  
まれ自分の時代も終わり

か、なにか複雑な心境であ  
る。

アナログからデジタル時  
代への変遷は放送に限らず  
あらゆる分野においての趨  
勢であることは事実であるが、  
音響の世界、例えばオーディ  
オの分野においてははつと  
圧倒的である。

かつて学生時代の大学生  
協には必ずと言っていいほ  
どオーディオの売店コーナー  
が有り盛況であった。勿論今  
の若者のようにゲームやイ  
ンターネットも無い時代だ

## 東日本大震災被災地視察及びボランティア派遣

### 期 間 平成23年7月27日(水)～31日(日) 5日間

### 派遣者 深野木 信 株式会社深野木組代表取締役

### 牧迫 英敏 牧迫建設株式会社代表取締役

### 上谷田浩幸 上谷田建設株式会社代表取締役

### 小林 省三 三元建設株式会社取締役

### 福元 昭博 福元昭博建設株式会社専務取締役

### 報告

我々五名は、東日本大震災の教訓を、協会及び協会員が今後  
の災害時の体制作り、都市防災の強化・発展等に活かすため、  
平成二十三年七月二十七日から三十一日まで五日間の日程で  
被災地に派遣された。

現地の思いを簡単に記すこととします。  
十六年前に発生した阪神大震災に迅速危険度調査のために  
現地を歩いた私は、自分が生きている間にそれ以上の悲惨な  
災害は起こらないと思つてた。津波で全てが流出し、野原と  
なった三陸海岸沿いの町は、どこも想像を絶するもので、映像  
や写真でイメージしていたものをはるかに超えていた。復興  
を誓う立て看板や、はたらく国旗や鯉鱈からはそれを立てた  
人の様々な思いが感じられ、歩くのはとてもつらく悲しいも  
のだった。

昭和三十五年発生したチリ地震津波の高さを示す掲示板が  
随所にあるが、その津波の高さが最大と認識されていたこと  
が、それを大きく越えた今回の津波による被害拡大に繋がつ  
たとのこと。案内の友人は経験値の怖さだと指摘していた。  
災害を教訓として活かしていることの難しさなのだろう。  
復興ボランティアバスに乗り南三陸町でのガレキの分別作  
業に参加。参加の四十人の全てが県外からの参加者というの  
には驚かされた。出水市から来たという青年もいた。さらに驚  
いたのは、ボランティアセンターのコーディネーターは大隅  
出身。四月に単身乗り込み、車に寝泊りして働き続けていると  
いう。献身的なボランティアの方々には頭が下がるとともに、  
できることをできる形で支援し続けていこうという気持ちに  
させてくれる。私たちが指示されたのは、家屋が流失し基礎の  
みが残るお宅で、行政からの重機が来たときに積み出しやす  
いように、可燃物・不燃物・鉄・ガラスに仕分け作業。小さな  
ガラス片を拾い集めながら、こんな小さな作業の積み重ねが  
無いと、復興は進まないのだと実感。全壊(流失を含む)家屋  
十二万棟の災害。ボランティアの継続的な力が必要だ。  
伝えたい被害状況や、思いが派遣者それぞれにあります。詳  
細な報告は別の機会にすることにします。

最後に東日本大震災で被災した全ての方々、その関係者の  
方々に、心からの哀悼の意を捧げます。



# 社団法人鹿児島県建築協会 設立50周年記念式典

平成23年5月27日  
於：城山観光ホテル



## (社)鹿児島県建築協会 設立50周年記念事業 車椅子贈呈先一覧表

鹿児島高等特別支援学校／鹿児島工業高等学校／末吉高等学校／鹿屋養護学校／徳之島高等学校／鹿児島市平川動物公園／指宿市／コミュニティーセンター川辺文化会館／南さつま市社会福祉協議会／枕崎市立病院／国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校／出水市社会福祉協議会／いちき串木野市社会福祉協議会／日置市社会福祉協議会／鹿児島県立北薩病院／霧島市立医師会医療センター／国立病院機構南九州病院／大崎町／志布志市／曾於市／鹿屋市社会福祉協議会／西之表市／中種子町／南種子町／屋久島町／奄美市

耐震改修促進小委員会	工事小委員会	編集小委員会	研究開発委員会	労務委員会	工事委員会	総務委員会	委員会
中村明人	横村満昭	小林正義	中村明人	中村明人	横村満昭	小林正義	担当副会長
牧迫英敏	鶴留政博	千原弘	牧迫英敏	深野木信	鶴留政博	千原弘	委員長
吉見忠通	岩澤英司	内村文泰	吉見忠通	梅木一宏	岩澤英司	内村文泰	副委員長
重留 静・深野木信・須田正己・道添秀一 (4名)	内門 一郎・諏訪園隆・梅木一宏・村中義秀 (4名)	久徳博文・野元善文・鶴留政博・牧迫英敏 (4名)	岩澤英司・中山 太・重留 静・道添秀一 (5名)	川井田哲・萩原秀俊・重留 静・水口照美 (6名)	野元善文・道添秀一 (6名)	久徳博文・濱田信行・芝 辰明・深野木信・鶴留政博・牧迫英敏・野元善文・松元利道 (8名)	委員長 前田 正人 副委員長 小林 正義 中村 明人 横村 満昭

## 委員会構成

会長 前田 正人  
副会長 小林 正義  
中村 明人  
横村 満昭

## 協会の動き



▲安全週間説明会 (6月21日)



▲国土交通省九州地方整備局鹿児島宮崎事務所との意見交換会 (6月28日)



▲木造住宅耐震診断員養成講習会 (7月7日)



▲前田会長総会挨拶写真 (5月27日)

- これからの行事予定
- 八月
    - リスクアセスメント研修会
    - 工業高校先生方との協議会
    - 足場点検研修会
    - 技術講習会
  - 九月
    - 鹿児島県との協議会
    - 建築関係技術者研修会 (各会場にて十月まで開催)
    - 現場所長研修会
    - 各委員会
  - 十月
    - 経営者講習会
    - 第四十七回ゴルフ大会
    - 鹿児島県との建築工事に関する協議会
    - かこしま住まいと建築展
    - 建築専門業団体との協議会
  - 十一月
    - 年末年始労働災害防止期間説明会
    - 防災防県支部長・建築協会会長表彰選考会
    - 合同安全パトロール
  - 十二月
    - 自民党県議団建設問題調査会との協議会
  - 一月
    - 建築四団体新春合同賀詞交歓会
    - 安全祈願祭・第三十五回安全大会
  - 二月
    - 現場見学会
    - 建設業無災害運動月間説明会
  - 三月
    - 各委員会

## 木造住宅耐震改修助成事業

※ 当協会では、木造住宅の耐震改修を促進させるため、県民の耐震診断希望者に少ない費用負担で耐震診断を行なう助成事業を本年度も計画(十五戸)しています。

なお、事業対象区域は県内一円ですが鹿児島市・薩摩川内市・出水市・霧島市・曾於市・さつま町は診断業務は行ないませんが助成事業は実施しません。

### 対象建物

- 昭和五十六年五月三十一日以前に着工され、完成しているもの。
- 延べ面積の過半の部分が住宅の用に供されているもの。
- 階数が二階以下のもの。
- 木造軸組工法のもので、枠組み壁工法、丸太組工法の住宅ではないもの。
- 大臣等の特別な認定を得た工法による住宅ではないもの。

延べ床面積	診断費用	依頼者負担	当協会補助
150㎡以下	45,000円	15,000円	30,000円
150㎡超～160㎡以下	48,000円	18,000円	30,000円
160㎡超～170㎡以下	51,000円	21,000円	30,000円
以下同様に10㎡増毎に	3,000円増	3,000円増	30,000円

## 建築協会安全スローガン

見逃すな 慣れたら怖い 危険予知 (タテ) 育てよう 職場で取り組む 安全意識 (ヨコ)

